資料1

三陸沿岸道路利活用戦略会議について

本日の議題

1. 三陸沿岸道路利活用戦略会議について　【資料1】
2. 三陸沿岸道路の整備効果の紹介　【資料2】
3. 連携施策事例の紹介　【資料3】
4. 新たな連携施策の提案　【資料4】
5. 道・絆プロジェクトの紹介　【資料5】
6. 今後のスケジュール　【資料6】
7. その他　【資料7】

三陸沿岸道路利活用戦略会議（宮城県）の立ち上げについて

＜事業中（H23～）＞

『宮城県復興道路会議』

〇目的　・一日も早い完成に向け円滑に事業を進める
〇内容　・関係者に対する事業進捗への合意形成
　　・関係者の連携による課題解決

「道路の整備」から「利活用のフェーズ」に移行

＜開通後（R3～）＞

『三陸沿岸道路利活用戦略会議（宮城県）』

〇目的　・三陸沿岸道路の全線開通を三陸沿岸エリア全体としての更なる地域活性化につなげる
　　（関係者が連携できる場（プラットフォーム）の構築）
〇内容　・三陸沿岸道路沿線における動向等に関する情報共有
　　・三陸沿岸道路を活用した地域活性化策の検討・実施

三陸沿岸道路利活用戦略会議（宮城県）の進め方

三陸沿岸道路利活用戦略会議

①三陸沿岸道路沿線における動向等に関する情報共有

○自治体やゲストからの話題提供
（企業立地や産業活動、観光、施策実施状況　等）

②三陸沿岸道路を活用した地域活性化策の検討・実施

○個別プロジェクトの企画、実施
（国交省で支援可能な施策メニュー紹介、自治体からの提案　等）

個別プロジェクトWG

希望自治体の担当者よる
ＷＧを立ち上げ機動的に推進

取り組み結果の報告・共有

会議の開催状況

○これまでに３回の三陸沿岸道路利活用戦略会議を開催。
○三沿道の整備効果、三沿道を活用した地域活性化に関する施策事例や連携事例等を共有。

R3年度

R3.6月

第1回　三陸沿岸道路利活用戦略会議（宮城県）

○会議立ち上げ

○地域活性化の施策メニューの紹介・提案

R4年度

R4.11月

第2回　三陸沿岸道路利活用戦略会議（宮城県）

○三陸沿岸道路を活用した地域活性化に関する施策事例、話題提供

○他地域における連携事例の話題提供

R5年度

R6.3月

第3回　三陸沿岸道路利活用戦略会議（宮城県）

○三陸沿岸道路沿線自治体の連携に関する意見紹介、取組紹介

○今後の連携施策の可能性を紹介

第3回三陸沿岸道路利活用戦略会議（宮城県）意見（抜粋）

■産業

【企業誘致・立地】

○「長沼工業団地」、「登米IC工業団地」は完売、「長沼第二工業団地」は2企業立地（登米市）

○三陸沿岸道路と連携し、気仙沼港を有効活用するために物流状況や三陸沿岸道路の転換可能性に関するアンケート調査を実施（気仙沼市）

■観光

【イベント・周遊】

○多賀城1300年を機に塩竈市、東松島市、松島町と連携した取組も実施し、毎月のようにイベントやプログラムを展開しており、友好都市の奈良市等と連携した企画も進めている（多賀城市）

○塩竈市内、松島、秋保の宿泊施設において、市内参加店舗で利用できるクーポン付きパンフレットの配布を実施し、第3弾のクーポン利用率は26%程度（塩竈市）

○栗駒山の紅葉時期のオーバーツーリズムに対し、パークアンドライドを実施（栗原市）

○栗駒山麓ジオトレイルというロングトレイルや砂利道や林道を走るアウトドアに特化したサイクルルーリズムを推進（栗原市）

○仙台市内でマルシェを2日間実施し、20数自治体に参加いただいた（南三陸町）

【拠点・施設】

○多賀城IC側に整備中の多賀城南門や多賀城碑に足を運んでいただき、他の施設に足を運んでいただくきっかけになればよい（多賀城市）

○沿岸部を中心に基幹ルートとして震災復興伝承ルートのルート策定、案内看板の設置を進めている（宮城県）

【広報】

○「moreTOHOKU」というWEBサイトを立ち上げ、三陸沿岸道路を使ったコースも紹介（仙台市）